



(財) 財務会計基準機構会員

平成 20 年 3 月期 第 3 四半期財務・業績の概況

平成 20 年 1 月 28 日

上場会社名 マミヤ・オーピー株式会社

上場取引所 東証二部

コード番号 7991

URL <http://www.mamiya-op.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 滝沢 三規

問合せ先責任者 (役職名) 管理部 長 (氏名) 吉野 利彦

TEL : (048) 710-4800

(百万円未満切捨て)

1. 平成 20 年 3 月期第 3 四半期の連結業績 (平成 19 年 4 月 1 日～平成 19 年 12 月 31 日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
20年3月期第3四半期	9,408	△29.4	1,013	8.5	970	40.0	1,104	△87.7
19年3月期第3四半期	13,334	△2.2	933	24.8	693	△20.1	9,049	—
19年3月期	16,336		1,295		1,239		9,711	

	1株当たり四半期(当期)純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益
	円 銭	円 銭
20年3月期第3四半期	11.84	—
19年3月期第3四半期	158.80	—
19年3月期	145.58	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
20年3月期第3四半期	10,685	5,546	51.9	59.44
19年3月期第3四半期	11,864	3,970	33.5	42.57
19年3月期	10,976	4,522	41.2	48.46

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
20年3月期第3四半期	1,238	596	△417	5,336
19年3月期第3四半期	△2,417	4,843	△2,844	3,499
19年3月期	△2,545	5,690	△3,134	3,926

2. 配当の状況

	1 株当たり配当金	
(基準日)	—	
	円	銭
19 年 3 月期第 3 四半期	0	0
20 年 3 月期第 3 四半期	0	0

3. 平成 20 年 3 月期の連結業績予想 (平成 19 年 4 月 1 日～平成 20 年 3 月 31 日) 【参考】
(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1 株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通 期	12,400	△24.1	1,170	△9.7	1,100	△11.2	1,230	△87.3	13.18	

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う
特定子会社の異動) : 無
- (2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有
- (3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 有

〔(注) 詳細は、4 ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。〕

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料における業績予想等の将来に関する記述等は、本資料作成時点で当社が把握・認識しております情報等に基づき、当社が合理的であると判断した内容です。

従って、当社グループの事業領域を巡る経済情勢、市場動向等の大幅な変動等、当社の想定する範囲を超えた会社内外の状況変化により、実際の業績が、結果として本資料における業績予想と違ったものとなる可能性があります。

なお、業績予想等の根拠並びにその変動の可能性と要因等については、4 ページ【定性的情報・財務諸表等】 3. 連結業績予想に関する定性的情報をご参照下さい。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第 3 四半期の売上高は 94 億 8 百万円（前年同期比 29.4%減）、営業利益は 10 億 13 百万円（前年同期比 8.5%増）となりました。

その内訳ですが、まず電子機器事業部門は、主要製品であるパチンコ玉貸機ユニット・メダル貸機の価格競争及びシェア争いが激化する中、パチスロ機の新基準機への全面移行による買い控えの影響等もあり、前期に比較し売上、営業利益共に大幅に減少いたしました。

この結果、電子機器事業部門の売上高は 66 億 78 百万円（前年同期比 34.7%減）、営業利益は 5 億 98 百万円（前年同期比 46.0%減）と、大幅に減少いたしました。

一方スポーツ事業部門は、国内においては、四軸織物の軽量シャフト「AXIV-X」の発売並びに「Proforce V 2」の健闘があったにも関わらず売上が伸び悩みましたが、海外での業績は、「Proforce V 2」の PGA ツアープロへの浸透により、引き続き順調に推移いたしました。

この結果、スポーツ事業部門の売上高は 27 億 30 百万円（前年同期比 16.0%増）、営業利益は 4 億 15 百万円（前年同期比 214.4%増）となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(1) 資産、負債及び純資産の状況

当第 3 四半期末の総資産は 106 億 85 百万円となり、前連結会計年度末に比べ 2 億 91 百万円減少いたしました。

流動資産は 96 億 40 百万円となり、2 億 54 百万円減少いたしました。

固定資産は 10 億 45 百万円となり、35 百万円減少いたしました。

当第 3 四半期末の負債総額は 51 億 39 百万円となり、前連結会計年度末に比べ 13 億 15 百万円減少いたしました。

流動負債は 33 億 17 百万円となり、9 億 36 百万円減少いたしました。この主な要因は、支払手形及び買掛金が 7 億 85 百万円減少したこととあります。

固定負債は 18 億 21 百万円となり、3 億 78 百万円減少いたしました。

当第 3 四半期末の純資産合計は 55 億 46 百万円となり、前連結会計年度末に比べ 10 億 24 百万円増加いたしました。この主な要因は、利益剰余金が 11 億 4 百万円増加したこととあります。

これらの結果、自己資本比率は前連結会計年度末と比べ 10.7 ポイント増加し、51.9 %となりました。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第 3 四半期末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、53 億 36 百万円となり、前連結会計年度末に比べ 14 億 9 百万円増加いたしました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動によるキャッシュ・フローは、12 億 38 百万円の増加となりました。これは主に、税金等調整前当四半期純利益 12 億 31 百万円に加え、売上債権の減少 13 億 78 百万円による資金の増加要因があったものの、資金の減少要因として、仕入債務の減少 7 億 78 百万円、たな卸資産の増加 2 億 76 百万円等があったことによるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動によるキャッシュ・フローは、5 億 96 百万円の増加となりました。これは主に、投資有価証券売却による収入 7 億 78 百万円及び有形固定資産の取得による支出 90 百万円等によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、4 億 17 百万円の減少となりました。これは主に、長期借入れによる収入 18 億円があったものの、長期借入金の返済 22 億 15 百万円があったことによるものです。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成 20 年 3 月期の通期業績予想につきましては、平成 19 年 1 月 16 日付の「業績予想の修正に関するお知らせ」において公表いたしました予想に変更はございません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用

影響額が僅少な項目につき、一部簡便な方法を採用しております。

(3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更

法人税法の改正に伴い、当連結会計年度より、平成 19 年 4 月 1 日以降に取得した有形固定資産については、改正法人税法の規定に従い減価償却費を計上しております。また、役員退職慰労金につき、従来は、支出時に費用計上しておりましたが、「租税特別措置法上の準備金及び特別法上の引当金又は準備金並びに役員退職慰労引当金等に関する監査上の取扱い」が公表されたことに伴い、当連結会計年度より、役員退職慰労引当金を計上しております。

なお、これらの変更に伴う、営業利益、経常利益、税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

5. (要約) 四半期連結財務諸表

(1) (要約) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円、%)

科 目	前年同四半期末 (平成19年3月期 第3四半期末)	当四半期末 (平成20年3月期 第3四半期末)	増 減		(参考) 前期末 (平成19年3月期 末)
	金 額	金 額	金 額	増減率	金 額
(資産の部)					
I 流動資産					
現金及び預金	3,506	5,336			3,936
受取手形及び売掛金	4,459	2,293			3,688
たな卸資産	1,547	1,923			1,691
その他	580	86			578
流動資産合計	10,093	9,640	△ 453	△ 4.4	9,894
II 固定資産					
有形固定資産	641	628			630
無形固定資産	13	10			12
投資その他の資産	1,116	406			438
固定資産合計	1,771	1,045	△ 725	△ 40.9	1,081
資産合計	11,864	10,685	△ 1,179	△ 9.9	10,976
(負債の部)					
I 流動負債					
支払手形及び買掛金	4,386	2,515			3,301
短期借入金	603	514			585
未払法人税等	32	31			28
その他	408	256			339
流動負債合計	5,431	3,317	△ 2,113	△ 38.9	4,254
II 固定負債					
長期借入金	1,901	1,285			1,630
退職給付引当金	496	454			505
その他	64	80			63
固定負債合計	2,462	1,821	△ 641	△ 26.0	2,199
負債合計	7,894	5,139	△ 2,755	△ 34.9	6,454
(純資産の部)					
I 株主資本					
資本金	3,958	3,958			3,958
利益剰余金	△ 419	1,322			217
自己株式	△ 34	△ 29			△ 27
株主資本合計	3,504	5,252	1,747	49.8	4,149
II 評価・換算差額等					
その他有価証券評価差額金	△ 12	0			—
為替換算調整勘定	477	294			373
評価・換算差額等合計	465	294	△ 171	△ 36.7	373
純資産合計	3,970	5,546	1,576	39.6	4,522
負債、純資産合計	11,864	10,685	△ 1,179	△ 9.9	10,976

(2) (要約) 四半期連結損益計算書

(単位：百万円、%)

科 目	前年同四半期 (平成 19 年 3 月期 第 3 四半期)	当四半期 (平成 20 年 3 月 期第 3 四半期)	増 減		(参考) 前期 平成 19 年 3 月期
	金 額	金 額	金 額	増減率	金 額
I 売上高	13,334	9,408	△ 3,925	△ 29.4	16,336
II 売上原価	10,046	6,585	△ 3,461	△ 34.4	12,255
売上総利益	3,287	2,823	△ 464	△ 14.1	4,081
III 販売費及び 一般管理費	2,354	1,810	△ 544	△ 23.1	2,786
営業利益	933	1,013	80	8.5	1,295
IV 営業外収益	99	101	2	2.1	247
受取利息	7	20	13		11
及び配当金					
その他	92	80	△ 11		235
V 営業外費用	339	144	△ 194	△ 57.3	303
支払利息	198	37	△ 161		214
その他	140	107	△ 33		88
経常利益	693	970	276	39.9	1,239
VI 特別利益	8,390	300	△ 8,089	△ 96.4	9,118
VII 特別損失	0	39	△ 39	—	558
税金等調整前 四半期(当期) 純利益	9,083	1,231	△ 7,852	△ 86.4	9,799
税金費用	34	126	92	268.8	87
四半期(当期) 純利益	9,049	1,104	△ 7,944	△ 87.7	9,711

(3) (要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

区 分	前年同四半期 (平成 19 年 3 月期 第 3 四半期)	当四半期 (平成 20 年 3 月期 第 3 四半期)	(参考) 前期 (平成 19 年 3 月期)
	金 額	金 額	金 額
I 営業活動によるキャッシュ・フロー			
税金等調整前四半期 (当期) 純利益	9,083	1,231	9,799
減価償却費	195	78	201
事業譲渡損失等引当金の増減額 (減少：△)	△ 4,664	-	△ 4,781
退職給付引当金の増減額 (減少：△)	△ 831	△ 50	△ 822
役員退職慰労引当金の増減額 (減少：△)	-	18	-
投資有価証券売却益	△ 332	△ 299	△ 559
固定資産売却損益 (益：△)	△ 1,971	2	△ 1,960
債務免除益	△ 5,921	-	△ 5,921
売上債権の増減額 (増加：△)	△ 981	1,378	△ 199
たな卸資産の増減額 (増加：△)	2,593	△ 276	2,464
仕入債務の増減額 (減少：△)	△ 13	△ 778	△ 1,104
その他	675	64	627
小 計	△ 2,168	1,370	△ 2,257
利息及び配当金の受取額	7	20	11
利息の支払額	△ 194	△ 24	△ 208
法人税等の支払額	△ 61	△ 127	△ 91
営業活動によるキャッシュ・フロー	△ 2,417	1,238	△ 2,545
II 投資活動によるキャッシュ・フロー			
投資有価証券の売却による収入	492	778	492
有形固定資産の売却による収入	4,347	-	4,355
有形固定資産の取得による支出	△ 72	△ 90	△ 169
定期預金の新規預入による支出	△ 9	-	△ 12
定期預金の解約による収入	56	10	56
その他	27	△ 100	966
投資活動によるキャッシュ・フロー	4,843	596	5,690
III 財務活動によるキャッシュ・フロー			
長期借入れによる収入	-	1,800	-
長期 (短期) 借入金の返済による支出	△ 5,841	△ 2,215	△ 6,130
新株の発行による収入	2,999	-	2,999
その他	△ 3	△ 1	△ 3
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 2,844	△ 417	△ 3,134
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 1	△ 8	△ 1
V 現金及び現金同等物の増減額 (減少：△)	△ 419	1,409	8
VI 現金及び現金同等物の期首残高	3,918	3,926	3,918
VII 現金及び現金同等物の期末残高	3,499	5,336	3,926

(4) セグメント情報

〔事業の種類別セグメント情報〕

前年同四半期 (平成19年3月期第3四半期)

(単位:百万円)

	電子機器事業	スポーツ事業	光学機器事業	計	消去又は は全社	連結
売上高	10,221	2,354	759	13,334	-	13,334
営業費用	9,112	2,222	1,066	12,400	-	12,400
営業利益	1,108	132	△307	933	-	933

当四半期 (平成20年3月期第3四半期)

(単位:百万円)

	電子機器事業	スポーツ事業	計	消去又は は全社	連結
売上高	6,678	2,730	9,408	-	9,408
営業費用	6,080	2,315	8,395	-	8,395
営業利益	598	415	1,013	-	1,013

(注)光学機器事業は、平成18年9月1日付で事業譲渡いたしました。

(参考) 前期 (平成19年3月期)

(単位:百万円)

	電子機器事業	スポーツ事業	光学機器事業	計	消去又は は全社	連結
売上高	12,399	3,177	759	16,336	-	16,336
営業費用	11,101	2,872	1,066	15,041	-	15,041
営業利益	1,297	305	△307	1,295	-	1,295

〔所在地別セグメント情報〕

前年同四半期 (平成19年3月期第3四半期)

(単位:百万円)

	日本	アジア	北米	計	消去又は は全社	連結
売上高	11,569	1,390	1,303	14,263	(929)	13,334
営業費用	10,698	1,374	1,231	13,305	(905)	12,400
営業利益	870	15	72	957	(24)	933

当四半期 (平成20年3月期第3四半期)

(単位:百万円)

	日本	アジア	北米	計	消去又は は全社	連結
売上高	7,146	1,806	1,745	10,698	(1,289)	9,408
営業費用	6,525	1,714	1,443	9,684	(1,289)	8,395
営業利益	620	91	301	1,013	(0)	1,013

(参考) 前期 (平成19年3月期)

(単位:百万円)

	日本	アジア	北米	計	消去又は は全社	連結
売上高	13,893	1,871	1,886	17,651	(1,314)	16,336
営業費用	12,839	1,780	1,717	16,337	(1,295)	15,041
営業利益	1,054	90	169	1,313	(18)	1,295